様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	上田短期大学
設置者名	学校法人北野学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	幼児教育学科	夜・通信	14		80	94	7	
	総合文化学科	夜・通信			73	87	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_studylist.pdf

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	上田短期大学
設置者名	学校法人北野学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/yakuinmeibo20260401.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	一般企業社長	2025.6.7～2028年定時評議員会終結	経営全般
非常勤	元信用金庫理事長	2025.6.7～2028年定時評議員会終結	経営全般
非常勤	一般企業社外取締役	2025.6.7～2028年定時評議員会終結	経営全般
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	上田短期大学
設置者名	学校法人北野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画の作成にあたり、専任・非常勤すべての教員に「授業概要（シラバス）記入例」を配布し、作成している。各教員から提出された授業計画については、教務委員が確認し、不備があれば担当教員へ連絡・修正をしている。 授業計画の公表については、本学の学生はもちろん、学外に向けても公表できるように、本学のホームページに掲載している。ホームページの授業概要は、４月初旬のオリエンテーションから閲覧できるようにしている。

授業計画書の公表方法	https://unipa.ueda.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学修成果の評価については、上田短期大学学則第 25 条、26 条及び授業科目履修規程に基づいて適切に行っている。 具体的な評価の方法は、まず各授業担当者が、すべての科目においてシラバスに従い、厳格かつ適正に評価を実施して評定を提出している。提出された評定は、学期ごとに学生支援課で集計する。その結果を教務委員会、教授会の順に審議を行い、最終的に学長が単位を認定している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

・GPA の算定について

(1)GPA の対象となる授業科目

適用除外科目を除くすべての授業科目が GPA の対象となる。また、以下の科目は適用除外科目であり、GP(Grade Point)が付加されない。

1. 合格か不合格かだけを判定する授業科目
2. 編入学または転入学した際の単位認定科目
3. 本学入学前に修得した単位認定科目

(2)成績評価の認定記号と付加する GP

成績評価は点数方式で行われ、以下の評定記号（S,A～D,E,H）に応じ、それぞれの評定区分に応じた GP が付加される。

評定区分	評定記号と評価内容	付加する GP
100 点～90 点	S(秀)：非常に優れた成績である	4
89 点～80 点	A(優)：優れた成績である	3
79 点～70 点	B(良)：概ね妥当な成績である	2
69 点～60 点	C(可)：合格に必要な最低限度を満たした成績である	1
59 点～0 点	D(不可)：合格には至らない成績である	0
	E(失格)：出席回数不足等により合格に至らない成績である	0
	H(認定)：単位認定科目であり、GPA の対象としない	なし

(3)GPA の算出方法

GPA 対象授業科目のうち、履修登録した科目（履修登録後、履修取消を行わなかった科目も含む）についてそれぞれの単位数に GP（4,3,2,1,0 のいずれか）をかけ、その合計ポイントを、それぞれの単位数の総和で割る。

・GPA の運用について

成績上位者に対し、表彰を行う。また、特待生の選出のため参考資料として運用している。成績下位に属する学生に対してゼミ担任が個別指導している。学生の成績分布状況の把握として、グラフなどの資料を作成している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_gakusyuseika.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 各学科とも教育目的に従ってディプロマポリシーを定め、ホームページや『キャンパスガイド』で公表している。なおディプロマポリシーと各授業科目の学習成果との関連性は、履修系統図・カリキュラムマップ等にて明示している。また卒業判定の手順は、各学生の修得単位数を集計し、『キャンパスガイド』やホームページ等に明示している卒業基準と照合して判定している。その結果を、教務委員会、教授会の順に審議を行い、最終的に学長が卒業を認定している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	幼児教育学科のディプロマポリシー https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_policy_edu.pdf 総合文化学科のディプロマポリシー https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_policy_cul.pdf 卒業の認定方法 https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_sotugyoukijyun.pdf

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	上田短期大学
設置者名	学校法人北野学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ueda.ac.jp/outline/information/
収支計算書又は損益計算書	https://www.ueda.ac.jp/outline/information/
財産目録	https://www.ueda.ac.jp/outline/information/
事業報告書	https://www.ueda.ac.jp/outline/information/
監事による監査報告（書）	https://www.ueda.ac.jp/outline/information/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.ueda.ac.jp/outline/information/evaluation/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　幼児教育学科
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_kengaku.pdf）
（概要） 幼児教育学科は、幼稚園教諭及び保育士の養成を主たる目的とするものですが、あわせて乳幼児の保育に関する基礎的教養の修得を目的とする学科です。教育分野のなかでも、最も基本的な幼児教育や子どもの幸せを探求する児童福祉に関係ある教科を 2 年間で体系的に学習します。このなかで、保育に関する専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな人間性も涵養し、卒業後は、有能な幼稚園教諭・保育士等として社会貢献できる人間を育成することを目指しています。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法：https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_policy_edu.pdf）
（概要） 幼児教育学科では、下記の能力を備えた学生に学位を授与します。 １．地域に貢献できる社会人になるための教養を身につけている。 ２．教育・保育の目的や支援について理解している。 ３．教育・保育のための知識と技術を身につけている。 ４．多様な保育形態と、現代社会における福祉の現状を知り、子どもたちの自己表現を促す知識と技術を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_policy_edu.pdf）
（概要） 幼児教育学科では、子どもの幸せを探求できる人材育成を行うために、次に掲げる科目により教育課程を編成し、授業目標への到達度で成績評価します。 １．豊かな教養を培う共通教育科目を設置する。 ２．教育・保育の本質と目的を学ぶ基礎理論に関する科目を設置する。 ３．教育・保育の対象を理解し、支援するための知識と技術を培う科目を設置する。 ４．学生が自身の得意分野や興味関心を活かし、また、学習進度に合わせて学びを深め、応用力を高められるよう、複数のコースを設置する。 ５．実際の現場を想定した課題を見出し、他者と協働して課題について考察を深める態度を培う教育を実施する。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_policy_edu.pdf）
（概要） 幼児教育学科では、次のような方の入学を求めています。 1．入学後の修学に必要な高等学校等卒業程度の基礎学力を持つ人 2．子どもの育ちに関心を抱き、そのための知識・技術を身につける意欲を持つ人 3．他者への敬意をもって行動できる人

学部等名　総合文化学科

教育研究上の目的
（公表方法：https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_kengaku.pdf）

（概要）
総合文化学科は、多種多様な職業のなかから自分の進路を見出して、地域社会で活躍する有用な人格の輩出を目指して、教養教育を重視した幅の広い教育内容を導入しています。企業・ホテル・図書館・福祉の現場などにおいて活用し、活躍するための知識・技能などを、学生一人ひとりの目的に応じて習得することが可能なシステムを持ち、地域社会に愛着を持ち理解を深めることを実現します。カリキュラム全般をとおして、ホスピタリティ精神をベースに置いたコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の向上を目指し、表層的ではない「教養」を身につけることによって、「考える力」や「創造する力」を養うことを教育目標としています。

卒業又は修了の認定に関する方針
（公表方法：https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_policy_cul.pdf）

（概要）
総合文化学科では、教育の基本方針に基づいて教育目標を定め、その目標に即した学習成果を収めて、所定の単位を修得した学生に対し、以下の観点から学位を認定、授与します。

１．建学の精神を理解し、他者を敬い、地域・社会に貢献できる、豊かな人間性をそなえている。
２．在学期間の学びを通じ、絶えず学び続けることの意義を理解している。
３．特色ある教育課程を通じて、学習成果を収めている。

教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_policy_cul.pdf）

（概要）
総合文化学科では、本学科が目指す学生像をふまえ、下記のような教育課程を編成します。

１．豊かな教養やキャリア形成のための力を養う共通教育科目と、専門分野の学びを深める専門科目を設置しています。
２．専門科目は、必修科目と８つの分野からなり、各種資格・検定等の取得にも対応しています。必修科目は、ゼミナール４科目に加え、日本語表現・日本語学入門・日本文学入門、信州総合学・ホスピタリティ入門とし、日本語日本文学の学びをベースに地域総合科学科としての学びの範囲を広げていきます。
３．実習・体験型の科目では、地域への理解を深めるとともに、他者を敬う気持ちや多角的な判断力と行動力を身につけます。

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：https://www.ueda.ac.jp/wp-content/uploads/2026/r08_policy_cul.pdf）

（概要）
総合文化学科では、次のような方の入学を求めています。

1．大学生生活を自己の飛躍の場と位置付けている人
2．本学科のカリキュラムによって、豊かな教養と専門知識・能力を身につける意欲のある人
3．地域社会と自己の関わり方を模索する意欲のある人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.ueda.ac.jp/outline/information/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	人	－					人
幼児教育学科	1人	2人	4人	2人	人	人	9人
総合文化学科	1人	2人	0人	4人	人	人	7人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
人	30人	30人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://www.ueda.ac.jp/outline/teacherlist/

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
幼児教育学科	65人	54人	83.1%	165人	104人	63.0%	0人	0人
総合文化学科	75人	79人	105.3%	155人	146人	94.2%	0人	0人
合計	140人	133人	95.0%	320人	250人	78.1%	0人	0人

（備考）

b.卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
幼児教育学科	50人 (100%)	0人 (%)	47人 (94.0%)	3人 (6.0%)
総合文化学科	53人 (100%)	1人 (1.9%)	49人 (92.4%)	3人 (5.7%)
合計	103人 (100%)	1人 (1.0%)	96人 (93.2%)	6人 (5.8%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
（備考）

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）

授業計画の作成にあたり、専任・非常勤すべての教員に「授業概要（シラバス）記入例」を配布し、作成している。各教員から提出された授業計画については、教務委員が確認し、不備があれば担当教員へ連絡・修正をしている。

授業計画の公表については、本学の学生はもちろん、学外に向けても公表できるように、本学のホームページに掲載している。ホームページの授業概要は、4月初旬のオリエンテーションから閲覧できるようにしている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

学修成果の評価については、上田短期大学学則第25条、26条及び授業科目履修規程に基づいて適切に行っている。

具体的な評価の方法は、まず各授業担当者は、すべての科目においてシラバスに従い、厳格かつ適正に評価を実施して評定を提出している。提出された評定は、学期ごとに学生支援課で集計する。その結果を教務委員会、教授会の順に審議をおこない、最終的に学長が単位を認定している。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
	幼児教育学科	62単位	（有）・無	30単位
	総合文化学科	62単位	（有）・無	30単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.ueda.ac.jp/campuslife/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	幼児教育学科	690,000 円	250,000 円	300,000 円	施設設備費
	総合文化学科	690,000 円	250,000 円	300,000 円	施設設備費
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

日本学生支援機構奨学金の他、下記の本学独自の奨学金を整えている。

１．北野奨学金（無利子貸与型）①一般奨学金（月々貸与）②海外研修奨学金（海外研修に必要な参加費用を貸与）③緊急奨学金（突然の災害等による経済的困難が生じた際に学費の一部を貸与）

２．北野次登奨学金（家計急変等、経済的困難が生じた際の給付型奨学金）

b.進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

就職支援を行う進路サポート室には専任職員が常駐し、全学生との個別面談、求人紹介、応募書類の添削、編入支援を行っている。入学生は、1 年次 4 月に進路希望調査を行い、編入希望の学生には早期から指定校先の紹介や希望学科に対応する進学先について相談に応じている。就職希望の学生には、セミナー（面接対策、履歴書等応募書類の書き方指導、社会人としてのマナー講座等）を実施する他、学内に市町村や私立園、一般企業を招き、業種・職種について学ぶ説明会を対面で行っている。その他、公務員保育士を志望する幼児教育学科の学生に対しては、公務員保育士合同説明会を開き、県内自治体の保育の特色や働き方、試験対策について学ぶ機会を設けている。一方、総合文化学科の学生を対象に、多様な業種を知る機会として、1 年次に「事業所見学会」、「企業交流会」、「合同企業研究セミナー」を開催し、企業の採用担当者と若手社員から説明を聞く機会を作り、就職活動に取り組みやすい支援を行っている。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

心身両面の支援は、各ゼミナール担当教員が学生の相談に応じるほか、保健室職員および公認心理師・臨床心理士の資格をもつ２名の学生相談員が、個別に学生の相談に応じている。必要に応じて、保護者および医療機関と連携し、支援体制の強化を図っている。健康診断の際に実施する学生健康調査の結果から、支援や助言が必要な学生へ早期に働きかけ、個別面談を実施、健康の保持・増進の一助となるよう取り組んでいる。

障害学生の支援は、合理的配慮の申請を希望する学生との面談を、障害学生支援室と保健室が中心となって実施し、障害学生支援担当教員と連携しながら支援内容を協議し、授業配慮依頼書を作成・周知することで、支援体制の構築を進めている。申請手続きは前期と後期

の年２回実施し、継続の有無を確認、支援内容の追加・変更等の確認を行っている。卒業後も見据え、自らの課題やニーズを相手に適切に伝えられる力を育成するための指導も、併せて行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.ueda.ac.jp/outline/information/

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。